

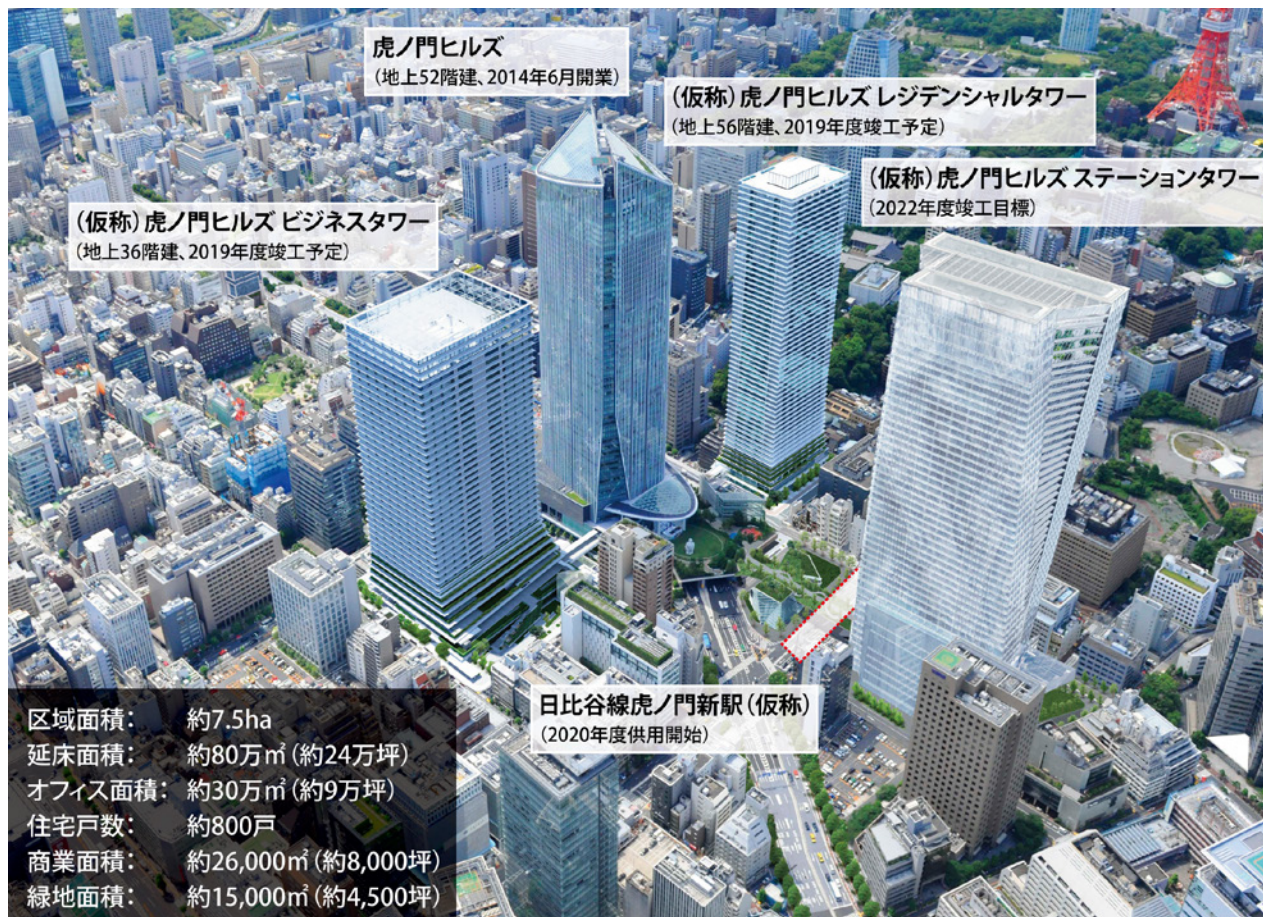
## 国際新都心へ「虎ノ門ヒルズ」が拡大・進化 3つの大規模プロジェクトと地下鉄新駅の一体的都市づくりを一気に加速

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)は、「虎ノ門ヒルズ」の隣接地において、新たに3つの大規模プロジェクトを推進し、日比谷線虎ノ門新駅(仮称)を含む一体的な都市づくりを加速します。これにより、「虎ノ門ヒルズ」は一気に拡大し、国際水準のオフィス、住宅、ホテル、商業施設、交通インフラなど様々な機能を備えた、真の国際新都心グローバルビジネスセンターへ進化します。

### 異次元のスピードで進む3つの国家戦略特区事業と地下鉄新駅

2014年6月の「虎ノ門ヒルズ」誕生を起爆剤に、虎ノ門エリアは都市再生に向けて大きく動き出しました。当社は、グローバルプレイヤーが住み、働き、集う国際新都心グローバルビジネスセンターを目指して、「虎ノ門ヒルズ」の両側にオフィスを中心とした「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」(2019年度竣工予定)と、住宅を中心とした「(仮称)虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー」(2019年度竣工予定)の2つのプロジェクトを進めています。さらに、桜田通りを挟んだ西側には、東京メトロ日比谷線虎ノ門新駅(仮称/2020年度供用開始)と一体開発する「(仮称)虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」(2022年度竣工目標)を計画しています。

新たな3棟の超高層タワーが加わることで、「虎ノ門ヒルズ」は区域面積7.5ha、延床面積80万㎡に拡大。約30万㎡のオフィス、約800戸のレジデンス、約26,000㎡の商業店舗、約350室のホテル、約15,000㎡の緑地空間を備え、道路や鉄道などの交通インフラとも一体化した複合都市となり、六本木ヒルズに匹敵するインパクトを与える真の国際新都心へと進化します。なお、これらはいずれも国家戦略特区の予定事業に指定されており、これまでにない異次元のスピードとステージで虎ノ門エリアの変貌を牽引してまいります。



## 「未来へ加速する東京」を象徴する「国際新都心・虎ノ門ヒルズ」

現在、虎ノ門ヒルズ周辺エリアでは、他社も含め複数の再開発や建替え計画が進んでいます。2016年12月に全線開通予定の環状2号線や地下鉄新駅、BRT（バス高速輸送システム）等、新たな交通インフラも加わり、当エリアの利便性は飛躍的に向上します。また、新虎通り沿道では、日本を代表するメインストリートを目指し、エリアマネジメント活動も具体的に動き出しました。国内外の文化・情報の発信拠点として様々な仕掛けやイベントが打ち出される予定です。

当社は、「未来へ加速する東京」を象徴する「国際新都心・虎ノ門ヒルズ」を軸に、グローバルプレイヤーが集まる空間や機会を創出していきます。そして、この場所から新たなビジネスやイノベーションを次々と生み出しながら、虎ノ門エリアの変貌ひいては国際都市・東京の磁力向上を強力に推進してまいります。



2018年度	■ 新橋29森ビル再開発プロジェクト 竣工予定
2019年度	■ 「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」(虎ノ門一丁目地区第一種市街地再開発事業) 竣工予定
	■ 「(仮称)虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー」(愛宕山周辺地区(I地区)開発事業) 竣工予定
2020年度	BRT 運行開始
	日比谷線虎ノ門新駅(仮称) 供用開始予定 東京オリンピック・パラリンピック 開催
2022年度	■ 「(仮称)虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」(虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発事業) 竣工目標

※各プロジェクトの詳細は別紙ファクトシートをご参照ください。

※なお、各プロジェクトの名称(仮称)は現時点で仮に設定したものです。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

森ビル株式会社 広報室 深野、佐々

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp